



# たしみず 市議会だより

ジョン万のふるさと土佐清水



第129号

2024年5月1日

下益野の  
みかん農園



R6.1.22  
1月会議

## 1月・3月会議

- ◎1月・3月会議の概要..... 2
- ◎議案等の議決結果..... 3
- ◎一般質問(要旨)..... 4
- ◎委員会の審査内容(抜粋)..... 13
- ◎議長の活動報告..... 17
- ◎議会目誌..... 18



R6.3.4  
議会再開日



R6.3.22  
議会散会日

1月会議及び3月会議  
議会再開日及び散会日の様子は  
こちらから御覧いただけます



# 令和6年土佐清水市議会定例会を開会し 会期を341日間と決定いたしました

## 1月会議の概要

1月会議は、1月22日に開会し、令和6年土佐清水市議会定例会の会期を12月27日までの341日間とすることを決定しました。

市長からは、議案5件が提出され、所管の委員会に付託し、審査を経た後、審査結果報告が行われ、採決の結果、全会一致により、それぞれ原案のとおり可決し、散会いたしました。

## 3月会議の概要

3月会議は、3月4日に再開し、審議期間を3月4日から22日の19日間に決定し、市長から報告3件及び議案33件が提出されました。

一般質問は、3月11日から13日までの3日間行われ、消防、介護保険制度、教育行政に関わって、財政と市内経済の活性化、高知県人口減少対策総合交付金、令和6年能登半島地震への対応と南海トラフ地震対策、県との連携、ふるさと納税、南海トラフ地震対策などに関して、9人の議員が質問戦を展開しました。

最終日には、3月会議で付託された議案について、各常任委員会委員長から審査結果の報告を行い、議案第31号について前田晃議員が反対討論を行い、採決の結果、議案第31号については賛成多数により、その他の議案については、全会一致により、それぞれ原案のとおり可決いたしました。

また、市議会議案第1号「最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出について」及び、市議会議案第2号「訪問介護事業所への支援を求める意見書の提出について」を提出し、採決の結果、市議会議案第1号については賛成多数により、市議会議案第2号については全会一致により、原案のとおり可決し、散会いたしました。

## 意見書

次の意見書を関係省庁等に提出しました

○最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書

○訪問介護事業所への支援を求める意見書

## 賛否の分かれた議案

番号	件名	坂下文宏	新谷英生	形岡弘士	谷口佳保	弘田条	武政健三	山崎誠一	吉村政朗	作田喜秋	前田晃	浅尾公厚	永野裕夫	議決結果
議案第31号	土佐清水市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	×	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	○	○	原案可決 (賛9、反2)
市議会議案第1号	最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出について	○	○	○	×	○	×	○	○	議長	○	×	×	原案可決 (賛7、反4)

## 議案等の議決結果

議会	番号	件名	議決結果
1 月 会 議	議案第1号	令和5年度土佐清水市一般会計補正予算(第9号)について	原案可決
	議案第2号	土佐清水市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	議案第3号	市道路線の廃止について	原案可決
	議案第4号	市道路線の認定について	原案可決
	議案第5号	令和5年度土佐清水市一般会計補正予算(第10号)について	原案可決
3 月 会 議	報告第1号	専決処分した事件の報告について(和解について)	—
	報告第2号	専決処分した事件の報告について(土佐清水市給水条例の一部を改正する条例の制定について)	—
	報告第3号	専決処分した事件の報告について(土佐清水市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について)	—
	議案第6号	令和5年度土佐清水市一般会計補正予算(第11号)について	原案可決
	議案第7号	令和5年度土佐清水市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
	議案第8号	令和5年度土佐清水市再生可能エネルギー事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
	議案第9号	令和5年度土佐清水市特別養護老人ホームしおさい特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
	議案第10号	令和6年度土佐清水市一般会計予算について	原案可決
	議案第11号	令和6年度土佐清水市国民健康保険事業特別会計予算について	原案可決
	議案第12号	令和6年度土佐清水市介護保険特別会計予算について	原案可決
	議案第13号	令和6年度土佐清水市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
	議案第14号	令和6年度土佐清水市再生可能エネルギー事業特別会計予算について	原案可決
	議案第15号	令和6年度土佐清水市特別養護老人ホームしおさい特別会計予算について	原案可決
	議案第16号	令和6年度土佐清水市水道事業会計予算について	原案可決
	議案第17号	土佐清水市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定について	原案可決
	議案第18号	土佐清水市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	議案第19号	土佐清水市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	議案第20号	土佐清水市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	議案第21号	土佐清水市パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	議案第22号	土佐清水市水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	議案第23号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	議案第24号	土佐清水市共同作業所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	議案第25号	土佐清水市立墓地条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	議案第26号	土佐清水市消防手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	議案第27号	土佐清水市立特別養護老人ホームの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	議案第28号	土佐清水市水道の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	議案第29号	土佐清水市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	議案第30号	土佐清水市奨学資金貸与条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	議案第31号	土佐清水市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	議案第32号	土佐清水市教育センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	議案第33号	土佐清水市関西学院大学入学準備金貸与条例を廃止する条例の制定について	原案可決
	議案第34号	土佐清水市立竜串貝類展示館の指定管理者の指定について	原案可決
	議案第35号	海ギャラテラスの指定管理者の指定について	原案可決
議案第36号	市道路線の廃止について	原案可決	
議案第37号	市道路線の認定について	原案可決	
議案第38号	工事委託協定の変更について	原案可決	
市議会議案第1号	最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出について	原案可決	
市議会議案第2号	訪問介護事業所への支援を求める意見書の提出について	原案可決	

# 一般質問

## 吉村 政朗 議員

### 1 消防について

(議員)

令和5年の消防白書によると、本市の救急出動及び搬送人員ともに過去最高を記録したとのことだが、現在の消防職員数を聞く。

(消防長)

条例定数は37名だが、ここ数年は慢性的な人員不足が続いており現在35名となっている。

(議員)

消防庁の「消防力の整備指針」によると、本市の適正な職員数は76名となっている。

特に消防隊は1隊10名で構成すべきだが充足されていないし、地震対策係も業務になっている。  
消防長の見解を聞く。

(消防長)

人員不足により職員配置

が満たせておらず大変苦慮している。

住民の安心安全確保に直結する消防業務は大変重要な役割を担っており、人的資源の質や量が住民サービスの提供に大きく影響する。

今後、厳しい状況下で活動している消防職員の労働条件の改善を図ることが重要と考える。

(議員)

消防が人員不足により最低限の責務を全うすることができない状況になりつつある。  
定数条例を改正すべきだ。

(副市長)

消防隊の1隊9人での勤務体制からの運用見直し等課題がある。  
市職員定数条例の改正も含めて検討する。

### 2 訪問介護について

(議員)

厚労省は訪問介護の基本報酬を引き下げの方針だ。介護ヘルパーは在宅介護の根幹であり訪問介護事業所を支援することは、在宅介護を必要としている高齢者に対し、市としての責務を果たすことでもある。

今こそ支援する時だ。市長の見解を聞く。

(市長)

介護報酬引下げに伴う実態を早期に把握し、何らかの支援策を講ずるように指示する。

### 3 足摺テルメについて

(議員)

指定管理者(株)ドットホームズが契約途中で撤退するが、その理由は？

(観光商工課長)

収益構造の改善と黒字化が将来にわたって見込めないというものであった。

(議員)

(株)ドットホームズの運営開始時に市が負担した修繕費は？

(観光商工課長)

8,635万円となっている。

(議員)

納付金(家賃)の減免措置は？

(観光商工課長)

令和3年度協定納付金800万円全額免除、令和4



一般質問の様子はこちらからご覧いただけます。

年度協定納付金960万円  
中864万円減額(90%減額)、令和5年度協定納付金960万円中864万円減額(90%減額)

(議員)

早期に売却すべきだ。

(副市長)

売却も含め検討する。



足摺テルメ

# 一般質問

## 坂下 文宏 議員

議員

### 1 介護保険制度

について

(議員)

介護保険制度は改定のために改悪されている。

今回の改定では訪問介護の基本報酬を引き下げるというものであり、市内の事業所では、経営に大変な不安を抱えている。

このため、市に対し支援策を求めた。

現在、地域包括支援センター業務は、高齢者の総合相談が主で、戸別訪問での実態調査業務が全くできていないが解決策を聞く。

(健康推進課長)

一定の人員体制の確立が必要だ。

(議員)

介護保険料の滞納者がいる。サービス利用の配慮をすべきではないか。



(健康推進課長)

滞納期間に応じ保険給付制限がかかる。

介護保険制度の趣旨理解のため広報活動を行う。

(議員)

高齢者のゴミ出し支援について聞く。

(市民課長)

地域の方々に支援の協力をいただいている。

今後は需要が増すため支援の在り方を研究する。

### 2 今ノ山風力発電計画

について

(議員)

経済産業省の勧告で指摘された事業見直しの進捗状況について聞く。

(市民課長)

木材集積所設置は取りやめる意向と聴取している。

また、設置する風車を6メガワット機から4メガワット機に変更する等の計画変更後に住民説明会を実施すると聞いている。

評価書手続きと保安林解除手続きを並行して行う。

(議員)

再生可能エネルギー導入目標等計画の中に、今ノ山風力発電計画を容認するかのような記述があるがいかげなものか。



一般質問の様子はこちらからご覧いただけます。

(市民課長)

あくまで再生可能エネルギーの可能性がある資料として提供している。

(議員)

今ノ山全体が水源涵養保安林に覆われているが、この保安林の役割について聞く。

(農林水産課長)

安定した水の確保、洪水や濁水を防止する役割などを持つ森林である。

(議員)

保安林解除について聞く。

(農林水産課長)

森林法第26条により公益上の理由または指定理由の消滅に限定し、保安林の解除は可能だが、解除にあたっては市長の同意がいる。

(市長)

必要な書類の提示がされて判断するが、本市の自然、市民の意向、経済効果、地域社会に果たすべき役割の重要性を十分考慮して判断する。

(議員)

保安林解除に同意すべきでないと思うがいかがか。

### 気になる用語

すいげんかんようほあんりん  
水源涵養保安林...

森林には、もともと雨水を貯える働きや土砂流出を防ぐ働き、水質を浄化する働きがあるが、主に河川や取水施設の上流に位置し、水資源利用の視点から特にそれらの働きが重要とされる森林を水源涵養保安林という。

一般質問

前田 晃 議員

### 1 教育行政に関わって

(議員) 教育行政を預かる教育長としての抱負・方針は？

(教育長)

私自身教育行政職としての経験はないが、大切にしたいことは、まずは人の話を聞くこと、そして置かれた状況の中で優先して対応していくべきことは何かを関係者の方々とともに考え、最終的には自らが責任を持って判断することを基本にしていきたい。

また、子供たちに身につけてほしい力は、「自ら学び、自ら課題を見つけ、共に学び、課題を解決していく力」で、それはまさにジョンワスピリッツに通じるものと考えている。

### 2 南海トラフ地震対策について

(議員)

耐震改修の必要性を理解していても、工事に踏み切れないのは自己負担があるからで、住宅の耐震化を進めるには、この自己負担を減らすことが重要。

令和6年度当初予算で耐震工事費補助金を昨年度112.5万円から125万円に引き上げていることは高く評価できるが、県は市町村が補助額を上限165万円まで引き上げても対応できるように当初予算を組んでいる。

県の要請に応じて補助金を165万円まで引き上げることができないか？

(市長)

令和6年度は12.5万円増額の125万円を進めることにしており、先に改修した方たちとの公平性を保つことも必要。

ただ次年度からは考えて

いきたい。

(議員)

災害時の水源として活用できる井戸を事前に登録し、補助金を出して整備を進めている自治体がある。

南海トラフ地震で集落の孤立が想定される本市では、地域にある井戸を活用することで、集落内で水を確保することができ、またセーフティネットとしても役立つものと思われるが、この取組についての所見は？

(市長)

本市においても地震などの大規模災害が発生した際、広範囲にわたる長期の断水が想定され、さらには給水車等による水の提供が道路状況により困難となる場合も想定されることから、地域にある井戸水の提供を求めることは有効な手段の1つであると考えます。

他市町村の状況や取組も参考にしながら、早急に活用制度について検討したい。



一般質問の様子はこちらからご覧いただけます。

#### ◎木造住宅の耐震化

##### ①耐震診断

■対象住宅：昭和56年5月31日以前に着工された住宅等

■対象者：住宅を自らが市内に居住することを目的に所有し、現に居住している者等

■補助金額：34,572円/件（自己負担なし）

##### ②耐震改修設計

■対象住宅：①の耐震診断の結果、耐震性に問題ありとされた住宅

■補助金額：耐震改修設計にかかった費用の一部（上限30万円）

##### ③耐震改修工事

■対象住宅：②の耐震改修設計を行った住宅

■補助金額：耐震改修にかかった費用の一部（上限125万円）

#### ◎家具の転倒防止対策等

##### ■補助対象者

土佐清水市内に住所を有し、現に居住する方

##### ■補助対象事業

南海トラフ地震等の発生における家具等の転倒防止、

収納物の落下防止、ガラスの飛散防止、耐震ブレイカー

の購入・設置

■補助金額：上限20,000円/件

#### ◎老朽住宅の除却

##### ■補助対象住宅

土佐清水市内に存する危険な老朽住宅等で、次に掲げる要件をすべて満たすもの

(1) 土佐清水市内にある住宅等であること

(2) 空き家であり、一年以上使用されていないこと

(3) 貸借権等がないこと

(4) 倒壊や火災により周囲の住家や一般国道、県道、市道、地区が指定する避難路に被害を及ぼすおそれのある住宅であること

(5) 市の職員による現場確認で一定以上の点検結果(老朽度)が必要

※住宅以外の建築物を除却する場合は、跡地を1年間地区の活性化に供する必要がある。

■補助金額：上限120万円（補助率80%）

※上限は延べ床面積で下がる場合があります。

■補助対象チェック「(5)の補助対象条件」

補助対象のチェックは、常時受け付けております。

#### ◎ブロック塀の撤去・改修

##### ■補助対象者

倒壊により一般国道、県道、市道、地区が指定する避難路を

閉塞するおそれのあるブロック塀の所有者

※市の職員による現場確認で一定以上の点検結果(危険度)

が必要

■補助金額：上限20万5千円

(上限は施工の長さにより下がる場合があります。)

##### ■注意点

・避難路に面していないブロック塀は、補助の対象になりません。

・ブロック塀の改修については、フェンス等の安全な塀に

改修する必要があります。

各補助事業(地震対策)の紹介

# 一般質問

## 山崎 誠一

議員



一般質問の様子はこちらからご覧いただけます。

1 財政と市内経済の活性化について

(議員)

財政基盤の健全化は大変重要だ。しかし、公的支出を抑え、市内経済へお金の流れを少なくしていくことは、市内経済の活性化への逆行と思う。

(市長)

投資的経費だけでなく、観光、商工、農林水産業の振興を図ることにより、市全体の経済活性化を図っていく。

本市産業の底上げを行うことが活性化への道しるべだと思っており、限られた財源の中、私を含め、職員一丸となり、知恵を出し合い、市勢発展に取り組む。

2 学校給食費の無償化について

(議員)

子育て世代の経済的負担の軽減を目的として学校給食費を無償化することだが、財源は何か、また令和5年4月1日にこども家庭庁が発足したが、学校給食費について国、県からの支援はないか市長に問う。

(市長)

学校給食費を無償化し保護者の皆様の経済的負担を軽減することで、安心して子育てが出来るよう支援を充実していく。

学校給食費の無償化については、県が創設した人口減少対策総合交付金及び本市のふるさと元氣基金を財源にして、私の任期中は継続していく。

3 奨学資金制度の拡充について

(議員)

子育て世代にとって将来の高等教育費負担は最大の課題だと理解している。そして少子化の原因の一つだと思う。郷土を思いやる気持ちが込められたものだと思っているが、奨学資金制度を拡充することについて意気込みを問う。

(市長)

土佐清水市の子供たちが、家庭の経済的理由で進学をあきらめることがないように、安心して夢に向かって勉強に励めるよう、制度を拡充し、教育の機会均等を図っていく。

4 土佐清水市の市史編さんについて

(議員)

複数の市制70周年記念行事の経費が令和6年度当初予算に計上されている。新市史の刊行が70周年のタイミングに合うことは喜ばしい。

(市長)

発刊に当たっての市長の所見や活用等についてお聞かせ頂きたい。

郷土の先人・中浜万次郎は絶体絶命の時、粘り強く、立ちほだかる困難を乗り越えた。

新土佐清水市史が市民の皆様の傍らに常置され、生のあらゆる局面で紐解かれる地域学の基軸書になってほしいと願う。



新土佐清水市史

### 気になる用語

#### 土佐清水市奨学資金制度の拡充…

令和6年4月から新規申請及び継続利用の方についても、貸与額の上限が増額されることとなった。

	改正前(月額)	改正後(月額)
高等学校等	13,000円	20,000円
短大・専門学校等	30,000円	45,000円
大学・大学院等	40,000円	60,000円

一般質問

弘田 条 議員

## 1 高知県人口減少対策

### 総合交付金について

(議員)

高知県の新年度予算として特に知事が力を入れてるのが、人口減少対策であると考える。

県内の34歳以下の人口が直近10年間で約2割減少、このうち20〜34歳の人口は年平均で約2,400人ずつ減少、年間出生者数が30人未満の市町村が20市町村にのぼるなど、若年層を中心とした人口の減少が深刻となってきた。

高知県人口減少対策総合交付金の概要を聞く。

(企画財政課長)

県が新たに創設する高知県人口減少対策総合交付金は、予算編成において最重要ポイントに掲げられ、令和6年度予算の目玉となっている。

ている。

交付対象事業は、①若者の増加、②婚姻数の増加、③出生率の向上、④共働き子育ての推進につながる新規事業及び拡充事業となっている。

基本配分型として、令和6年度本市配分額は1,079万円で学校給食無償化事業に活用する。

連携加算型は、本市など1万人以上の市町村に最大1億円が交付され、県が掲げる目標の達成につながり、県実施事業と連携して更なる相乗効果が期待される事業や、市町村が創意工夫し、独自に実施する先駆的事業が対象となっている。

## 2 ヘルスケアモビリティ

### について

(議員)

このヘルスケアモビリティ事業について、大いに期待している。

令和4年度から高知県の事業として宿毛市が遠隔診療としてヘルスケアモビリティの事業が始まり、大井田病院に導入され、車内には診察に必要な医療機器や通信設備を備えた診察室が設けられている。

地域の診療提供体制の確保を目的とし、医療機関へのアクセスが不便な中山間地域等を巡回し、オンライン診断の普及を図っている。この件について、本市の状況を聞く。



↑  
一般質問の様子は  
こちらからご  
覧いただけます。

(健康推進課長)

渭南病院の取組として、軽自動車の専用車両に生体情報モニターなどを搭載し、地域に赴き、訪問診療を実施していく予定。

本年4月からは、各地域を巡回し、健康相談を行いながら、地域住民との交流や診療車の紹介、WiFi環境確認を行い、来年1月を目途にオンライン診療を行う計画となっている。

### 気になる用語

#### ヘルスケアモビリティとは…

車内にオンライン診療が可能な設備と簡単な検査を行うことができる医療機器を搭載した医療車両のこと。本市では令和7年1月より医療機関へのアクセスが不利な中山間地域等を巡回するなどして、オンライン診療の普及を図っていくこととしている。



渭南病院のヘルスケアモビリティ



# 一般質問

## 新谷 英生 議員



一般質問の様子はこちらからご覧いただけます。

### 1 令和6年能登半島地震への対応と南海トラフ地震対策について

（議員）

本市が行った義援金100万円以外の支援内容を聞

（危機管理課長）

寄贈された災害用シャワーシステムを石川県へ貸与している。

（議員）

市広報3月号で被災地支援職員派遣とあった。派遣経緯や派遣内容の報告を聞く。

（危機管理課長）

石川県から国へ要請があり、総務省から各都道府県へ要請、高知県から各市町村へ要請があり、市町村職員は県庁に集合し被災地へ

派遣。

現地では断水が続き、通行不可道路、倒壊家屋も多く、大変な状況だったが、物流は一部再開されていたと聞いている。

（議員）

能登半島地震での死因の多くは建物倒壊による圧死だったと聞く。建物倒壊を防ぐ耐震化工事の本市実績は。

（危機管理課長）

平成22年度から令和6年度までで281件。令和に入り件数が増加した。

（議員）

各地区で組織され活動している自主防災組織の主な活動内容、課題や要望を聞く。

（危機管理課長）

避難道の維持管理、地区の避難訓練等が自主防災組織の主な活動になるが、高齢化が進み人材不足等が課題。整備への補助等の要望がある。

（議員）

光回線の未整備地区における災害時の通信手段として、スターリンクの利用はどうか。

（危機管理課長）

災害有線電話を25台、衛星携帯電話12台を各市民センター等へ配備している。今後新たな配備時には検討する。

（議員）

大規模災害では「自助」や「共助」の力を高めておくことが必要であると考え

総合防災訓練について聞

（危機管理課長）

総合防災訓練は2年に1度実施。

関係機関と相互の連携強化を図れる有意義な訓練と

（議員）

訓練でいろいろなお見えてくる。共助の自主防災組織や消防団等の連携強化、各地域での大規模災害訓練等を強く望む。

（議員）

### 2 市長の公約について

（議員）

市長のマニフェスト3つの重要政策等の詳細を提示し、市民や職員と共有する必要があると思うがどうか。

（市長）

見える化等の資料作成や配布は考えてはいないが、提案理由等での報告を検討していく。

（議員）

程岡市長が就任後初めて組んだ令和6年度予算のポイントについて聞く。

（市長）

「活力ある土佐清水市へ足固めとする予算」と位置づけ、地域経済活性化へ全力で取り組む。

### 気になる用語

スターリンク (Starlink) とは…

米国の宇宙事業会社スペースXが手掛ける衛星通信サービスのこと。アンテナを設置するだけで山間部等のインターネット未接続地域などで高速なインターネットを利用できる。令和6年能登半島地震では被災地域での通信手段の確保にスターリンクが活用されている。

## 一般質問

# 谷口 佳保

議員

### 1 県との連携

について

(議員)

本市の人口減少の現状について。

(市長)

昭和33年頃のピーク時の3分の1まで減少している。令和4年度の出生数は過去最少の26人に対し死亡者数は10倍超の279人。年間253人の人口自然減になっている。依然として人口減少に歯止めがかからない状況が続いている。

(議員)

観光、商工、教育、福祉。あらゆる分野で人手不足。担い手不足が叫ばれている。本市にとっても人口減少対策は最重要課題と考える。県が新設する「高知県人

口減少対策総合交付金について市長の意気込みを問う。

(市長)

濱田知事と同じ気持ちで取り組む。

4月以降早急に企画財政課を司令塔とし、庁内に横断的なプロジェクトチームを組織し、計画・構想を作り上げる。

本市の特色を生かし、他市町村の模範となる先駆的な取組・事業を展開し、スピード感をもって取り組む。

### 2 運転免許証

自主返納支援について

(議員)

本市の高齢化率は51%を超えている。

今後免許返納者は増えるであろうことと、より利

便性の高い支援確立のため、福祉タクシー、介護タクシーでも、バス・タクシーチケットが利用できないか。

(企画財政課長)

チケットの利用促進及び利便性の向上の観点から、介護タクシーへの利用拡大について必要性は十分感じている。

利用拡大について前向きに検討していきたい。

### 3 高齢者集いの場

支援事業について

(議員)

サロンのお弁当代支援の継続について。

(市長)

国の交付金を財源に時限的な取組として実施してきた。

本事業は令和5年度末をもって終了するもの。

介護予防につながる場の提供など、地域住民の皆様とともに、持続可能な取組を進めていくので御理解御協力をお願いしたい。

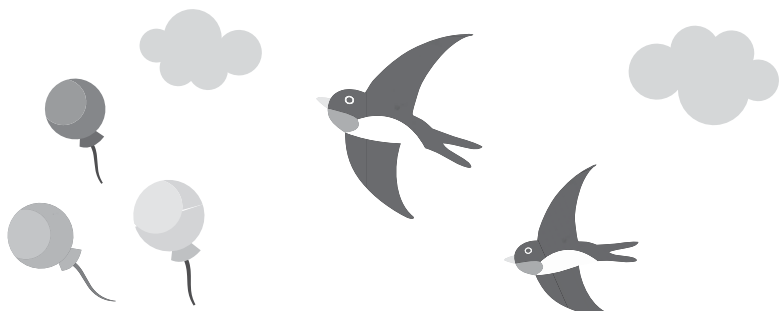
(議員)

令和6年度には「高知県人口減少対策総合交付金」を活用して、予算額2,875万3千円の学校給食費無償化に取り組むこととしているが、「高齢者集いの場」



一般質問の様子はこちらからご覧いただけます。

「支援事業」は年間350万円程度の予算で再開できる。高齢者が食事等を通じて健康増進及び生きがいを感じられる集いの場の支援事業の再開をお願いする。



# 一般質問

## 武政 健三 議員

議員

### 1 南海トラフ地震に備えて

(議員)

能登半島地震の教訓から、耐震化工事の重要性を改めて認識した。

高知県の耐震化率の平均は88%だが、本市の耐震化率は約79.5%であり、未耐震の住宅数は1,255戸と聞いている。

令和5年度耐震改修工事の平均額は。

(危機管理課長)

令和5年度の平均額は1件当たり147万6,825円となっている。

(議員)

令和6年度予算で計上されているのが、耐震改修工事40件分、老朽住宅除却が60件分となっている。このペースでは目標の耐震化率

95%には10年以上かかる。5年でもどがつくような施策の検討を強く要望する。

### 2 ふるさと納税について

(議員)

ポータルサイト運営支援業務の委託業者は決まったのか、6億円をどう目指すのか。

(観光商工課長)

委託業者は寄附額22億円以上の芸西村や土佐市等で実績のある株式会社ふるぽに決定した。

返礼品をジャンル別に関発、既存返礼品の分析や見直し、新規事業者の開拓や返礼品ページの検索上位対策を行い、月ごとの目標達成状況等を確認しながら進めていく。

(議員)

本市のあらゆる生産者や業者にとって最大のビジネスチャンスだと思う。

ふるぽのノウハウを生かして令和6年度目標額の3億円を通過点にしてほしい。

### 3 中央町火災跡地について

(議員)

火災跡地利用アンケート収集後の進め方について

(観光商工課長)

アンケート内容を踏まえ、計画作成支援業務の委託事業者をプロポーザル方式で選定する。

令和6年度に計画策定、令和7年度以降に実施設計・整備工事を実施予定。土地は購入の方向で進めている。

(議員)

アンケートにはどのような意見があったか、また市長の所見は。

(観光商工課長)

祭りや集会ができる広場、立木やベンチがある憩いの場、駐車場、自由記載欄にはイベントなど多目的に利用できる広場、宿泊施設、若者世代向けの市営住宅などがあつた。

(市長)

避難タワーを建設することとは規制があり、補助が出ないので困難。今後意見聞きながらプロジェクトチームとともに考えていく。

(議員)

程岡市長の経済人の目線と行動力で、一刻も早く市民の皆さまに喜んでいただ



一般質問の様子はこちらからご覧いただけます。

けるスペースになることを期待する。



中央町火災跡地

# 一般質問

## 形岡 弘士 議員



↑  
一般質問の様子は  
こちらからご  
覧いただけます。

### 1 南海トラフ

#### 地震対策

(議員)  
本市で災害発生時に主として迅速に業務を遂行する部署と役割について危機管理課長に問う。

(危機管理課長)  
災害時に主となる部署は危機管理課。  
災害発生時に誰がどの業務を実施するのは土佐清水市災害対策本部編成名簿に明記され、人事異動等があった場合はその都度見直しを実施する。

(議員)  
大規模災害時において自治体職員が担わなければならない業務は多岐にわたり、対応は困難を極めると思うが、本市の災害対策や防災を担う市職員の人材育成は

どのような取組が行われるのか総務課長に問う。

(総務課長)

現在10名の防災士資格の保有者がおり、今後も継続的に防災士資格取得者を増やし、防災及び災害対応力向上を図る。

### 2 災害時の消防署の役割について

(議員)

災害発生時の初動体制の取組が大切だとメディア等で報道されている。  
本市の南海トラフ地震発災時における消防職員の初動体制はどのようになっているか消防長に問う。



(消防長)

消防職員は震度4で自動招集となり、震災対策マニュアルや地域防災計画に基づき、消防団と協力し災害対応を行う。

### 3 水道料金の改定について

(議員)

水道料金が20%値上がりに至った理由について水道課長に問う。

(水道課長)

水道事業は水道料金収入を主な財源として経営しており、給水人口が減少する中、安全な水の安定供給を今後も維持するために料金改定を行う。

### 4 ドッグラン

#### 設置について

(議員)

土佐清水総合公園の芝生広場内に新しくドッグランができたが、利用にあたってのルールや注意事項をまちづくり対策課長に問う。

(まちづくり対策課長)

排せつ物は飼い主が始末すること等の基本的なこととなっている。

### 5 高知県漁業調整規則について

(議員)

漁業調整規則における水産動植物の採捕について農林水産課長に問う。

(農林水産課長)

漁業調整規則は高知県が制定しており、採捕できる

水産動植物の種類や期間、区域等の詳細については高知県に問い合わせいただきたい。

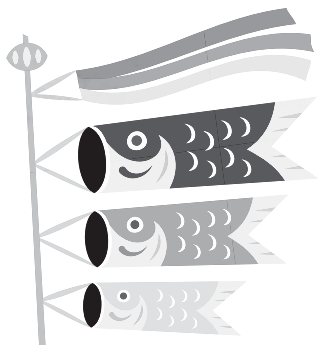
### 6 海業振興について

(議員)

本市における海業振興について今後の所見を農林水産課長に問う。

(農林水産課長)

地域資源の価値や魅力を活用する海業の取組は既に少なからず行ってきたが、県や近隣の自治体の動向も注視し、本市に有益であれば、前向きに検討する。



# 委員会の 審査内容 (抜粋)

## 1月会議

### 予算決算常任委員会

令和5年度土佐清水市  
一般会計補正予算

(第9号)について

### ◆商工振興費について

(委員)

報償費の地域電子通貨「めじか」のポイント付与はいつ頃になるのか。

(執行部)

令和6年2月1日の土佐清水市に住民登録のある市民に対し一人3,000円分のポイントを付与。ポイントの有効期限は、令和6年3月末の予定としている。

また、チャージした際の5%のプレミアムポイントについては、令和6年3月から令和7年3月末ま

で付与する。

### ◆債務負担行為補正について

(委員)

ふるさと納税ポータルサイト運営支援業務委託について、債務負担行為を設定しているが、この契約について来年度に向けてどのように進んでいるか。

(執行部)

今回のふるさと納税ポータルサイトの運営支援については、来年度から、ふるさと納税に関するネット検索対策、商品の磨き上げに対する事業者への支援、広告などに関して中間事業者を入れる予定としている。

委託料は、寄附額に対して4・4%を上限として事業者を募集しており、令和6年度は、寄附額を3億円と見込み1,320万円を予定。

公募により事業者が決定期契約し、来年度に向けての準備期間に入る予定としており、今年度中に業者選定及び委託契約を

行う必要があること及び委託期間が2か年にわたる契約となることから、今回債務負担行為を設定している。

### 産業厚生常任委員会

土佐清水市手数料条例の一部を改正する条例の  
制定について

(執行部)

令和元年に改正された戸籍法により、戸籍の手数料等の一部改正が令和6年3月1日に施行されることに伴い、戸籍謄本等の広域交付並びに戸籍(除籍)電子証明書提供用識別符号の発行事務や届書等情報の内容に基づく届書等情報内容証明等の事務が創設され、これらの事務に係る所定の規定を整備する。

(委員)

識別符号とはどのようなものか、また識別符号を盗難され、悪用される危険性への対応はどのように考えるか。

(執行部)

識別符号についてはまだ国から具体的な内容について示されておらず、現時点では答弁できない。

識別符号の悪用に対する対応については、識別符号により提供された情報を閲覧できるのは市町村もしくは行政機関に限られたネットワーク内で行われるシステムとなつて

いるため、個人情報については十分厳重な管理がなされている。

(委員)

戸籍の広域交付について、申請後、交付されるまでのかなりの期間が必要か、また手数料は市町村によって異なるのか。

(執行部)

戸籍謄本等の取得については、市内に本籍地がある方と同様の時間で交付が可能となる。

手数料については、市町村が行う標準的な事務手数料について定められた法令に基づくものであり、全国一律の金額となる。

市道路線の廃止及び  
認定について

(執行部)

令和2年度より、下ノ加江市野々地区において、高知県が圃場整備事業を施工しており、市道市野々2号線の起点を含む一部が農地の換地計画に合わせ起点を変更する必要があるが生じている。

道路法により起点若しくは終点又は、そのいずれもを変更する場合については、路線の廃止を行い、再度路線の認定を行う必要があり、道路法第8条第2項により、「議会の議決を経なければならぬ」と規定されているため、議案として上程するもの。

(委員)

道路の幅員はどうなるのか。

(執行部)

廃止路線については2・5mから5・2mの範囲の幅員であったのに対し、整備後は3・0mから5・2mの範囲の幅員となっている。

# 3月会議

## 予算決算常任委員会

### 令和6年度土佐清水市

#### 一般会計予算について

- 土佐清水市野良猫不妊手術等推進事業補助金 (130万円)
- 土佐清水市ごみ収集箱設置事業補助金 (356万1,000円)
- 土佐清水市衛生センター長寿命化総合計画策定業務 (767万7,000円)
- 中央町火災跡地再生開発事業 (352万7,000円)
- 市制70周年記念事業クラフトビルプロジェクト (284万5,000円)
- ふるさとレストラン事業シェフツアー委託 (161万円)
- 見残し海岸遊歩道整備事業 (3,300万円)
- ふるさと納税ポータルサイト運営支援業務委託 (1,320万円)
- 事前復興まちづくり計画策定業務委託 (1,320万円)
- 小中学校ICT支援員配置事業 (343万8,000円)
- 市制70周年記念事業わがまちの未来予想 (16万3,000円)
- 市制70周年記念事業土佐清水市の歩み (414万2,000円)
- 市制70周年記念事業しみずの建築の魅力再発見ツアー (32万9,000円)
- 市民文化会館非常用発電機設置事業 (8,330万円)
- 土佐清水市住宅用太陽光発電システム等設置費補助金 (700万円)



### 令和5年度土佐清水市一般会計補正予算(第11号)について

#### ◆老人福祉費について

##### (委員)

一般会計からのおさい特別会計への繰出金が7,435万3,000円と高額になったのはなぜか。

##### (執行部)

定員100人の枠に1日平均95人で当初予算を計上していたところ、決算見込みにより利用者数が73人となり、大幅な収入減を一般会計から繰出して補填することになった。

(委員) 利用者が減少した理由は何か。

(執行部) 新型コロナウイルスやインフルエンザウイルス感染症が蔓延した後に体調不良から入院を経て退所する方が増えたこと、また、これらの感染症により亡くなられた方が多く、その後の入所手続きには細心の注意を払っていたこと。

とから、市中や施設での感染症発生時の入所手続きが中断及び遅延となり、空床をつくることになった。

##### (執行部)

現在の利用者数と待機者数は何人か。

##### (執行部)

現在、在籍数が66人、そのうち入院者数が6人で、実人数は60人となっている。

入所待機者数は現在30人で、そのうち他施設の利用者や入院中の方などを除くと、10人程度の待機者がいる。

### 令和6年度土佐清水市一般会計予算について

#### ◆企画振興費について

##### (委員)

土佐清水市DX推進モデル事業の内容を聞く。

##### (執行部)

自治体がデジタル技術を活用して行政を進める上で、市民のデジタル技術の向上が必要になるが、例えば地域にいながら行政

が発信する議会中継や夏季大学などの情報を受けられる仕組みをつくるものとなっている。

今回は試験的に手挙げ方式で、意欲のある地区にスクリーンやプロジェクトターなどの受信設備を整えていき、実際に運用してみても二重や効果があるのかを検証するモデル事業となっている。

(委員)

200万円の予算で何か所の地区を予定しているのか。

(執行部)

公募制で2地区を選定する予定。

令和6年度は1地区100万円を上限として補助対象事業費の10分の9を補助することになっている。

### ◆ふるさと魅力推進費

について

(委員)

ふるさと納税ポータルサイト運営支援業務委託について、債務負担行為議

決後の委託業者との契約日や契約期間はどのようになっているか。

(執行部)

令和6年2月28日に業者と契約を締結し、期間は同日から令和7年3月31日までとなっている。

(委員)

契約した業者名及び契約後の打合せの内容は。

(執行部)

業者は株式会社「ふるプロ」(芸西村)で、本市の現状の調査と分析を行い、足りないところはどこか、また「ふるプロ」のノウハウをどう生かすかなどのアドバイスをもたらしている。

本市の商品で、市場で勝てる返礼品をカテゴリー別に追求していくことが実施方針で、「ふるプロ」と一緒に返礼品の開発と事業者の発掘を進め、目標の3億円が通過点になるような形で進めていく。

### ◆学校管理費について

(委員)

小学校スクールバス運行業務の委託料は、令和4年度が約500万円、令和5年度が約750万円、令和6年度が約1,600万円になっている。同じく、中学校のスクールバス運行業務の委託料は、令和4年度が約3,500万円、令和5年度が約2,800万円、令和6年度が約3,600万円になっている。

(委員)

業者選定についてのどのような経緯があったのか、また委託料が増えた要因は何か。

(執行部)

市内のバス運行業者2社と市外の運行業者1社に見積り入札を実施。

小学校統合に伴い1路線増えたことや、それぞれの路線単価が上がったことにより、委託料が増額となった。

(委員)

スクールバス運行業務の委託料については、入札

方法も含めてしっかりと精査し、今後に生かすよう要望する。

### 総務文教常任委員会

土佐清水市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

(執行部)

児童福祉法等の一部を改正する法律(令和4年法律第66号)により、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める厚生労働省令の一部が改正され、「児童の安全の確保」に関する事項が追加となったことから、この基準を定める省令に従い制定している本条例について、省令の改正内容に

(委員)

準じ安全計画の策定等及び業務継続計画の策定等の規定を新設し、衛生管理等の規定を一部改正並びに先の改正で追加されていた自動車を運行する場合の所在の確認について

の規定を新設するもの。

また、改正後の本条例第11条第4項中、本事業における一の支援の単位を構成する利用児童数について、令和2年度以降、利用児童数が月平均40人台で推移し、令和5年度は50人台となり、今後も同様の人数が見込まれることから、実情に合わせて、「おおむね40人以下」から「おおむね50人以下」へ人数を改正するもの。

(委員)

現在の支援員及び利用児童数は何人か。

(執行部)

支援員は、常勤が2人と非常勤が7人の計9人。そのうち7人が有資格者。

利用児童数は、令和6年2月末時点で53人おり、そのうち障害のある児童については7人で、この児童には、5人の加配支援員がついている。

土佐清水市教育センターの  
設置及び管理に関する  
条例の一部を改正する  
条例の制定について

(執行部)

教育センター内の少年  
補導センターに配置して  
いる補導教員について、学  
校現場の教員が不足して  
いる状態であるため、令和  
6年3月末をもって引揚  
げとなることから、本条例  
第5条に規定する職員に  
ついて、「補導教員」を削除  
し、「その他必要な職員」を  
追加する改正を行うもの。

(委員)

こういった動きは県下  
的なことか。

(執行部)

令和4年度末に南国市  
と香美市が引揚げとなり、  
県下的には段階的に引揚  
げになっている状況。

令和6年度からは、本  
市、室戸市、四万十町が引  
揚げの予定となっている。

(委員)

補導教員の引揚げに伴  
い令和6年度から雇用を  
予定している補導専門職

員の採用にあたり、教員等  
の資格が必要となるのか。

(執行部)

教員等の資格は不要と  
している。

教員でなくともその内  
容が理解出来ていれば引  
き継ぐること、例えば見守  
り活動といったようなこ  
とを精査し対応してもら  
う。

また、これまで補導教員  
が果たしてきた育成や指  
導の役割は、在職中の教員  
OBのスクールソーシャル  
ワーカーや相談員、研究  
員も含め対応ができるも  
のと考えている。

### 産業厚生常任委員会

土佐清水市立特別養護老人  
ホームの設置及び管理に  
関する条例の一部を改正  
する条例の制定について

(執行部)

本市における高齢者を  
含めた人口減少傾向や、過  
年度実績及び将来のサー  
ビス需要を考慮し、より現  
状に即したサービス提供

となるよう、特別養護老人  
ホームしおさいの定員に  
ついて、現行では、本入所  
100人、短期入所20人、  
合計120人のところを、

本入所90人、短期入所10  
人、合計100人に改正す  
る。

なお、改正にあたって  
は、介護職員と看護職員を  
合わせた職員数に対する

利用者数が、職員1人に対  
し、利用者3人という設定  
があり、しおさいの現状の  
職員数を常勤換算で計算  
すると、約31・1人となり、  
94人の利用者に対応でき  
る職員が配置されている  
という状況も踏まえて計  
算された結果となってい  
る。

(委員)

約10人の待機者の受入  
れについてはどうなってい  
るか。

(執行部)

待機者に連絡はしてお  
り、スケジュール等のマツ  
チングが完了できれば、順  
次入所していただけるよ  
うな段取りで動いている。

(委員)

令和5年度の一般会計  
から特別会計への繰出金  
は当初予算と比べ、大幅な  
増額補正となっているが、  
令和6年度当初予算の繰  
出金は3,427万1,0  
00円となっている。この  
予算額で収まるような運  
営になるか。

(執行部)

施設の稼働率を10  
0%に近づけるように、待  
機者をつくらない、空床を  
つくらないという運用を  
実施する。

(委員)

空床を埋めるための宣  
伝等はどのように考えて  
いるか。

(執行部)

幡多エリア内の施設や  
入所をコーディネートす  
る事業所に対し、空床があ  
る旨の文書を出して入所  
を促すような営業活動を  
実施していきたいと考えて  
いる。

## 市役所1Fロビーで議会中継を 御覧いただけます。

令和6年土佐清水市議会定例会3月会議より、市  
役所1Fロビーに設置したモニターを使って市議会中  
継を御覧いただけるようになりました。

中継は、議会再開日、散会日及び一般質問の日に行  
っております。





# 議長の活動報告

議長は年間を通じて議会を代表し、各種行事、式典や会合等に出席するほか、本会議において議事を整理し、議会の事務を統理するといった職務を遂行しています。

1月から3月までの議長の主な活動状況については、左のとおりとなっております。

- 1月 3日 令和6年土佐清水市成人式  
7日 令和6年土佐清水市消防出初式  
16日 第45回四国西南地域市議会議長懇談会定期総会  
(宿毛市)
- 2月 1日 令和5年度特別交付税要望活動 (東京都)  
4日 令和5年度土佐清水市消防団定例部長会  
7日 幡多三市議会議長懇談会 (宿毛市)  
15日 幡多広域市町村圏事務組合議会定例会  
(幡多クリーンセンター)  
17日 令和5年度拉致問題を考える国民の集いin高知  
(高知市)  
20日 高規格救急自動車受納式
- 3月 6日 土佐清水ジオパーク推進協議会  
令和5年度第5回理事会  
17日 土佐清水市観光開き式典  
18日 台湾と幡多地域等との交流に関する意見交換会  
(四万十市)  
25日 土佐清水ジオパーク推進協議会総会  
27日 土佐清水商工会議所第179回通常議員総会・  
議員懇談会



## 議会報告会を開催します

土佐清水市議会では、令和元年春以降、長い間休止しておりました「議会報告会」を下記日程にて開催いたします。

「議会報告会」は、議会の活動や、市政の情報を議員が直接市民の皆様へ説明し、意見交換を行うことにより、市民の皆様の声が市政に反映させる取り組みです。

皆様の積極的な御参加をお待ちしております。

日	時	場 所
5月 7日(火)	午前10時00分～	越連合区長場
5月16日(木)	午後 1時30分～	爪白区長場
5月17日(金)	午後 1時30分～	集楽活動センター下川口家
5月20日(月)	午後 1時00分～	市野々公会堂
5月24日(金)	午前10時30分～	中浜会館

※どこの会場でも構いませんので、御都合のよい場所へ御参加ください。

お問い合わせ 議会事務局 ☎82-1112



- 1月 9日 議会だより編集委員会  
 15日 議会運営委員会／議会だより編集委員会／委員長会  
 22日 議会運営委員会①／令和6年土佐清水市議会定例会1月会議開会・散会  
 ／予算決算常任委員会／産業厚生常任委員会／議会運営委員会②
- 
- 2月 22日 産業厚生常任委員会  
 26日 議会運営委員会
- 
- 3月 4日 3月会議再開／議会運営委員会／全員協議会  
 11日 一般質問  
 12日 一般質問  
 13日 一般質問  
 14日 予算決算常任委員会  
 15日 予算決算常任委員会／議会運営委員会  
 18日 総務文教常任委員会／産業厚生常任委員会  
 22日 3月会議散会／議会運営委員会／議会報告会代表者会議

## 編集後記

程岡新市長にとって、初めての本格的な当初予算編成となりました。

本市の目指すべき「愛と自然に満ちた活力あるまちづくり」を実現するため、公約に掲げた「福祉」「教育」「経済」を3本柱として実行していくとすることで、「学校給食の無償化」「ふるさと納税の推進」「奨学金のさらなる充実」などの関連予算が計上されています。

令和6年度は、市制施行70周年を迎える節目の年であり、10月26日に「市制施行70周年記念式典」と「第9回土佐清水ジョン万祭り」を同時開催することの報告がありました。

また、平成31年4月から、生涯学習課内に「市史編さん室」を設置し取組を進めてきた、「新土佐清水市史」を刊行する運びとなった報告もありました。

近年、地球温暖化が進んでいるのか、年々気温も上昇してきているように感じます。これからの時期は豪雨や暴風災害が心配されます。災害には十分気をつけてお過ごしください。

委員長 弘田 条

## 市議会の傍聴について(お願い)

新型コロナウイルス感染症の基本的対処方針の変更に伴い、傍聴される方の、手指のアルコール消毒及びマスクの着用は自己判断に委ねられます。

本会議の一般質問など会議での発言を記録した「会議録」を市民図書館・議会事務局で御覧いただけます。

次回の開催予定は6月中旬です。日程が決まり次第、防災行政無線でお知らせいたします。

開催日程など詳細は、事前に議会事務局【☎(82)1112】までお問い合わせください。

## 土佐清水市議会だより

編集委員会

委員長 弘田 条

新谷 英生

谷口 佳保

前田 晃

浅尾 公厚